

③ 保見ヶ丘・保見・田畠町エリア

**めぐる
歴史と桜道を**



● 保見交流館を起点として歩くのが最適です。東門を出て、保見園地へ直進します。園地入口信号で右折。太泡! 新池のある園地中央へ向かいます。池を南側に望む歩道上から、景観が最高です。園地建物を背景にした新緑・紅葉時の景観は雄大です。歩道のツヅジも春には華やかです。

● ものづくりサポートセンターを左折すると唐池があります。平成25年度にはため池を利用した親水公園がお目見えします。池の西側に覆われた小高い山が伊保東古城跡で、中学校正面横に立派な碑があります。左方向に伊保藩主菩提寺の黄壁示永福寺が見えます。保見町公民館に向かう道が極道です。ここは秋の紅葉もきれいで、高台から保見町を一望できる散策路唯一の景勝路です。公民館を過ぎると射穂神社参道であります。神社への道は急ですが、興味のある方はぜひひどりで、社格の高い由緒ある神社です。

● 保見交流館入口が鶏石コースへの分岐になります。往復約60分で、昔話で有名な鶏石を、田舎道を通して周回できます。今回はこのコースをとらないで、直進し、射穂神社第2大鳥居に向かいます。鳥居周辺は昔保見村役場があった中心地です。また鳥居前の街中道はかつての飯田街道で、中馬で荷物を運搬した中馬街道とも呼ばれています。このあたりは史跡が多く、教職員会館東側が伊保城跡で、今は何もありませんが、江戸時代初期に伊保藩主の館があつた場所です。鳥居西側の山が伊保西古城跡で、中世の砦跡です。散策路が整備され、史跡案内看板もあります。

季節の良い時、時間の良い時は立ち寄ってみてください。

● 和徳寺には見所が沢山あります。春の枝垂れ桜はみごとです。名木とされる巨木やマセモ、ヒヨクヒバの老木にはびっくりします。旧街道から県道を通り、JA保見支店角に向かいいます。六所山と焙烙山を前景に、一直線の農道を歩くのは清々しい気分です。四季の水田風景を楽しみながら、保見交流館に到着です。